

2026年6月25日
公益財団法人イオン環境財団

世界遺産を守るため、今年も10,000本を植樹 7月4日(土)第2回アンコール イオン ネイチャーパーク植樹を実施

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也 イオン株式会社取締役兼代表執行役会長 以下 当財団）は、カンボジア シェムリアップにおいて7月4日（土）「第2回 アンコール イオン ネイチャーパーク植樹」を実施します。

イオンは、2002年からカンボジア国内各地でボランティアの皆さまと植樹を行っています。アンコール・ワット遺跡群のひとつであるチャウスレイ・ヴィヴォル遺跡と参道周辺、シェムリアップ中心地の森林公園、イオン・シアヌーク博物館、タケオ州のプノンタマウ野生生物保護センターほか、世界遺産の環境保全と森林再生、生物多様性保全を目的に、これまで約9,500人のボランティアの皆さまと約74,000本を超える地元の樹種を植えています。

当財団は、2025年から5年計画にて、アンコール・トム遺跡周辺において風雨から世界遺産を守るとともに生物多様性保全を目的に植樹を実施しています。第1回（2025年）は日本とカンボジア両国から800人が参加し、10,000本を植樹しました。第2回となる本年も、同規模で実施予定です。

当財団は、豊かな自然を次代に引き継ぐため、これからも植樹活動をはじめとする環境活動に積極的に取り組んでまいります。

記

日 時	2026年7月4日（土）8：30～10：00		
場 所	カンボジア シェムリアップ アンコール・トム遺跡周辺		
本 数	10,000本		
樹 種	マングローブ、カリン 含め22種		
参加者	800人 カンボジア300人 日本500人		
主 催	公益財団法人イオン環境財団 アンコール地域遺跡保護管理機構		
協 力	イオン カンボジア・イオンモール カンボジア イオン スペシャルイズドバンク カンボジア・イオンディライト ベトナム		
出席者 (予定)	カンボジア王国 文化芸術省 在カンボジア日本国大使館 アンコール地域遺跡保護管理機構 シェムリアップ州 王立プノンペン大学 公益財団法人イオン環境財団 イオン カンボジア イオンモール カンボジア イオンスペシャルイズドバンク カンボジア イオンディライト ベトナム	大臣 特命全権大使 総裁 副知事 副学長 理事長 社長 社長 社長 社長	プーン・サコナ 様 植野 篤志 様 ハン・プウ 様 ヨン・リンネー 様 オム・ラヴィ 様 岡田 元也 シン・ピセイ 木村 徹哉 宇佐見 智弘 奥野 匡俊

以上

ご参考

■名譽理事長 岡田卓也がカンボジア王国友好勳章大十字型章を受章（2010年）

長年にわたるカンボジア王国への環境・社会貢献活動がカンボジアの経済、文化交流の発展に貢献したと評価を受けカンボジア王国より2007年に「Le Grand Officer (将校章)」を、また、2010年には最高位である「Royal Order of Sahametrei Grand Cross (友好 勳章大十字型章)」を親授されました。



【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社名誉会長相談役）により日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の4つの事業を中心に活動しています。現在は、持続可能な地域の実現を目的に新たな里山づくりにも取り組んでいます。1991年からのイオンの累計植樹本数は、1,287万本を超えています。（2026年2月末時点）

【カンボジアにおける植樹活動】

主催	植樹地	年	本数	参加者
イオン環境財団	アンコール・ワット遺跡群	2002, 2004 2005, 2007	7,600	1,182
	イオン・シアヌーク博物館	2007	144	20
	チャウスレイ・ヴィヴォル遺跡群	2010-2011	5,266	580
	プンタマウ野生動物保護センター	2015-2017	21,000	2,330
	パンテアイ・クデイ寺院	2019	500	80
	アンコール イオン ネイチャーパーク	2025	10,000	800
イオンモール ふるさとの 森づくり	イオンモールプノンペン	2014	10,000	1,500
	イオンモールセンソックシティ	2018	12,000	2,000
	イオンモールミエンチェイ	2022	8,000	1,000
合 計			74,510	9,492



第1回 アンコール イオン ネイチャーパーク植樹（2025年）

■助成事業

世界各地で地域ボランティアと共に環境活動に取り組んでいる非営利活動団体を対象に、活動費の一部を助成しています。2025年の第35回イオン環境活動助成では、111団体9,888万円を助成しています。カンボジアで活動する助成先の「特定非営利活動法人 アジアの誇り・プレアビヒア日本協会」は、カンボジア・タイ国境近くの世界文化遺産であるプレアビヒア寺院周辺にて、現地の人々と協働し、植樹、下草刈り、給水等を行い、自然環境保全に取り組んでいます。



■環境教育・共同研究事業

[アジア学生交流環境フォーラム]

(2012年～2023年)

グローバルなステージで活躍する環境分野の人材育成を目的として、アジア各国の大学生が集い、地球環境について国境を越えて討議をするフォーラムで10年間に10か国763人が参加しました。カンボジアからは、王立プノンペン大学が2015年から参加し、第8回(2019年)は幹事校を務めました。



【イオングループの社会貢献活動】

■「バットンバン義肢センター」支援(1998年～2000年)

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ(以下、イオン1%クラブ)は、日本赤十字社とのパートナーシップのもと、1998年より3年間にわたりカンボジア・バットンバン義肢センターを支援しました。バットンバン義肢センターは、地雷で被害を受けた人々へ義肢の支給や、リハビリを通じて社会復帰を支援する施設で、イオングループ店舗、事業所での募金及びイオン1%クラブからの寄付金をあわせ同センターに1億7,300万円を寄付しました。

■学校建設支援事業(2000年～2003年)

長く続いた内戦によって失われたカンボジアの教育基盤の早期回復を願い、2000年よりイオングループ店舗や事業所での募金を実施し、イオン1%クラブからの寄付金をあわせ総額3億円を日本ユニセフ協会へ寄付しました。日本ユニセフ協会とのパートナーシップを柱に151校を建設し、これまでに約37万人の子どもたちが学校を卒業しています。



■「イオン・シアヌーク博物館」寄贈(2007年)

「イオン・シアヌーク博物館」は、上智大学アジア人材養成研究センターが2000年、2001年の期間に発掘したアンコール王朝期の仏像を保存・展示すべく、イオン1%クラブの寄付と上智大学の石澤良昭教授チームとアンコール地域遺跡保護管理機構の協力のもと建設されました。カンボジアの文化遺産をカンボジアの方々の手により研究・保存いただくために国へ寄贈し2007年11月の完成式典にはシハモニ国王陛下もご臨席されました。



■イオン ユニセフ セーフウォーターキャンペーン

カンボジア等の子どもたちに安全な水を供給するため、全国から寄せられた募金とイオン1%クラブからの拠出金を、公益財団法人日本ユニセフ協会を通じて寄付しています。給水施設の設置等により、遠方への水汲みに時間をとられ学校の授業に参加できない子どもたちや、健康を害する恐れのある物質を含む地下水を生活用水として使う子どもたちを、教育・健康の両面でサポートしています。2025年度は6,362万円を贈呈し、これまでにカンボジア・ミャンマー・ラオスの累計64万人を超える人々に安全な水を供給しています。

■ティーンエイジ アンバサダー／イオン スカラシップ

イオン1%クラブは、日本と海外の高校生が互いの国を訪問し、国際的な相互理解と進行を深める交流プログラムとして「ティーンエイジ アンバサダー」を1990年より実施しておりこれまでに、日本を含む18カ国2,721人が参加しています。また、「イオン スカラシップ」では、アジアの大学生を対象にこれまでに延べ9,923人に奨学金を給付しています。2025年度はカンボジアの学生22人を含む8カ国566人に奨学金を給付しました。